



ロシア工業団地バーチャル展示会（VERIP） 開催のご案内

2022年2月18日

日露貿易投資促進機構（ロシアNIS 貿易会）

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、（一社）ロシアNIS 貿易会は、経済産業省の助成を得て、ロシア工業団地協会との共催による複合的オンライン事業「**ロシア工業団地バーチャル展示会（VERIP）**」を開催します。

本事業は、2020年初から始まった新型コロナウイルスの世界的流行により国境をまたぐ移動が制限される状況下で、デジタル技術の活用による日ロ間の新たな交流方式を提案し、事業機会の創出を図るものです。

現在、ロシアは製造業の近代化のために外国からの投資を積極的に誘致しています。そして投資誘致の受け皿となり、生産拠点を形成しているのが、ロシア各地に設置されている工業団地及び経済特区です。ロシアにおいて本格的な工業団地や経済特区が設置され始めたのは2005年頃からで、現時点で約370の工業団地がロシアに存在または建設中です。今回のロシア工業団地バーチャル展示会（VERIP）では、**①特設ウェブサイト、②バーチャル展示会、③オンラインウェビナー/プレゼンテーション、④オンライン商談会**を通じて、ロシアの選りすぐりの工業団地及び経済特区を日本の皆様へご紹介します。

敬具

概 要

◆開催期間：2022年3月9日（水）～3月18日（金）

うち▶ウェビナー「ロシアの工業団地建設と国家支援措置」（2月18日受付開始）
3月10日（木）日本時間 16:00～18:00（モスクワ時間 10:00～12:00）

▶ロシア工業団地オンライン・プレゼンテーション（2月18日受付開始）
3月11日（金）日本時間 16:00～18:00（モスクワ時間 10:00～12:00）

◆特設ウェブサイト：<https://www.verip.rotobo.or.jp/> ※3月2日（水）に開設します。

◆主催：（一社）ロシアNIS 貿易会（ROTOBO）、ロシア工業団地協会（AIP）

◆本件連絡先：（一社）ロシアNIS 貿易会ロシアNIS 経済研究所

担当：中居孝文、大内悠、服部雅史

連絡先：TEL 03-3551-6218 / Email: forum@rotobo.or.jp

VERIP バーチャル展示会出展者一覧

	機関・団体名	概 要	URL
1	ロシア工業団地協会 	ロシアの工業団地の発展促進を目的として2010年に設立されたロシアの団体。現在、工業団地の運営機関・会社を中心に130社・機関が同協会の会員。ロシアへの日本企業の誘致に熱心で、毎年日本でセミナーを開催。	https://indparks.com/
2	ロシア工業団地協会 産業建設委員会 	ロシア工業団地協会の下部組織で、ロシアで現地生産化を行う際のあらゆる作業段階（設計、各種許認可、インフラ・ユーティリティの整備、工場の建設管理等）をサポートしている。	https://indparks.com/about/command/comitet/
3	ウリヤノフスク州開発公社 	ロシア沿ヴォルガ地方のウリヤノフスク州の投資誘致の支援促進機関。同州は日本企業の誘致に力を入れており、現在、ブリヂストン、DMG森精機、タカタといった日本企業の工場が稼働、またいすゞがトラックの組立に従事。	https://ulinvest.ru/?sl=en#page1
4	中部ウラル開発公社 	スヴェルドロフスク州の投資誘致の支援促進機関。同州は鉄鋼、機械、軍需といった重工業が盛んな地域で、同州ではニプロ、三島光産が生産活動をしている。チタンバレー経済特区にはボーイング社（米）の工場が入居。	https://investural.com/en
5	サマラ州投資誘致エージェンシー 	サマラ州はロシアの自動車産業の一大拠点。ロシア最大の自動車メーカーの本社工場があり、同社と提携するルノー・日産が生産拠点を有する。トリヤツチ経済特区には日系のATTR、HI-LEXなど多くのサプライヤーが入居。	https://investinsamara.ru/en/
6	リペツク経済特区 	首都モスクワから350kmにあるリペツク州。リペツク経済特区は工業生産型特区で、入居企業は約60社。日系では横浜ゴムが同特区でタイヤを生産している他、Honeywell（米）、ABB（スイス）等が入居。	https://sezlipetsk.com/en/
7	ストゥピノ・クヴァドラト経済特区 	首都モスクワの南西部に位置する経済特区。2015年に開設したロシア初の民営の経済特区。入居企業は約30社、うち17が工場を開設済。特区の周辺に住宅地を並行開発し、職住一体型の特区を目指している。	https://gdpquadrant.com/en/
8	ドブログラード 1 経済特区 	2020年11月にオープンしたロシアで最も新しい民営の経済特区。首都モスクワから240kmと近く、州都ウラジミル市から45kmに位置する。住宅、教育・リクリエーション施設等を備えた職住一体型の特区を目指している。	https://sezdobrograd.com/en/
9	テクノポリス・モスクワ経済特区 	モスクワ市に所在する経済特区。現在、市内各所に5つのサイトが開設済みで、6つ目のサイト（ルドネヴォ）を建設中。現時点で88のハイテク企業が入居している。	http://technomoscow.com/
10	シュナイダー・グループ 	2003年、ウルフ・シュナイダー氏（ドイツ系）によって設立されたモスクワのコンサルティング会社。ロシアNIS市場へ進出する企業に対し、①進出支援、②財務・経理、③ITソリューション等のサービスを提供。	www.schneider-group.ru
11	(一社)ロシアNIS貿易会 	ロシア、NIS諸国及びモンゴルとの貿易・投資関係の拡大、様々な交流の促進を図り、日本とこれら関係諸国との通商の振興に貢献することを目的に活動している日本の団体。1967年設立。	http://www.rotobo.or.jp/

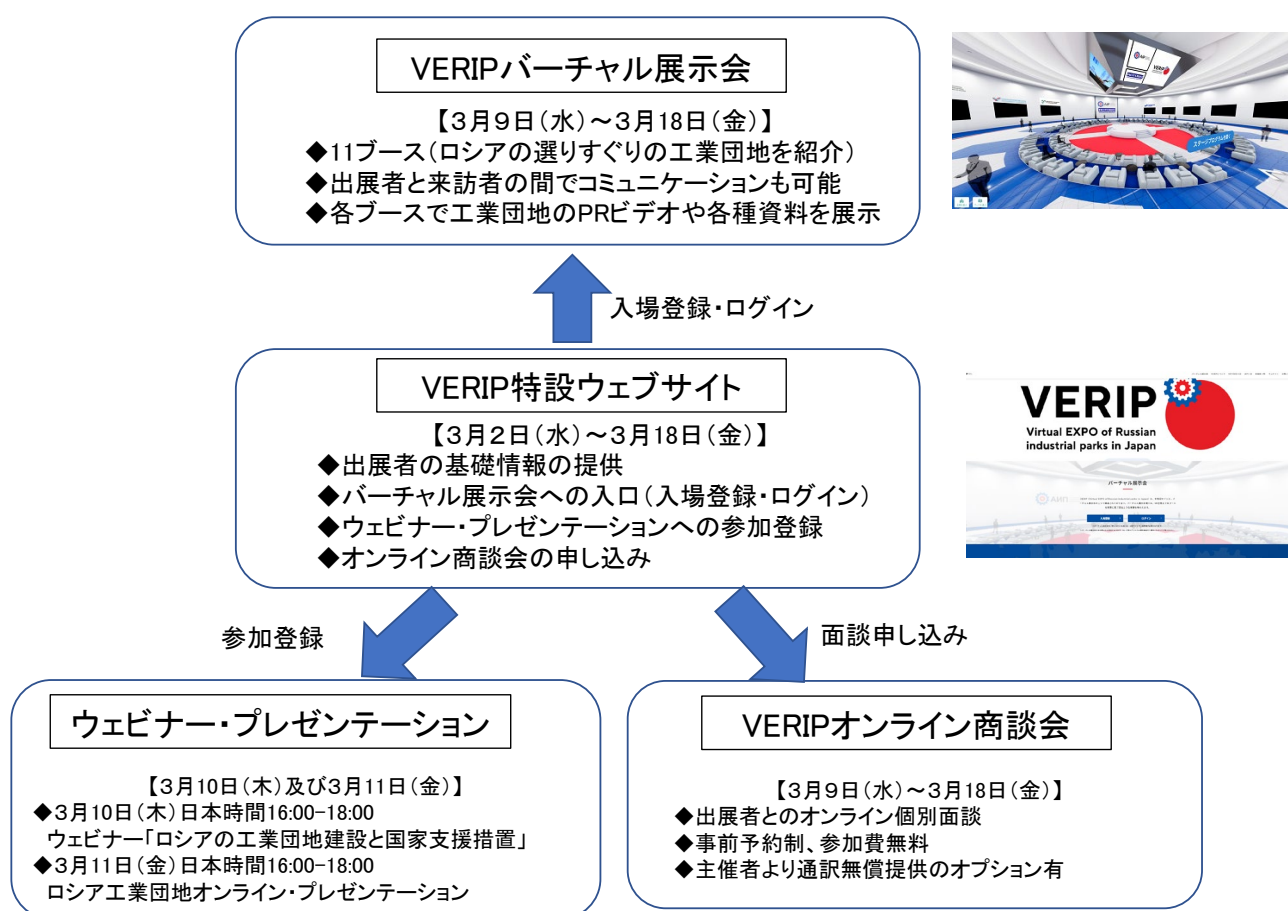
ロシア工業団地バーチャル展示会（VERIP） 開催概要

0.基本事項

（１）事業構成

ロシア工業団地バーチャル展示会（Virtual EXPO of Russian Industrial Parks in Japan, 以下 VERIP）は、以下４つのサブ事業で構成されます。

- ① VERIP 特設ウェブサイト
- ② VERIP バーチャル展示会
- ③ ウェビナー・オンラインプレゼンテーション
- ④ VERIP オンライン商談会



（２）開催日程

１）プレオープン期間：3月2日（水）～3月8日（火）

- ◆特設ウェブサイト開設、出展者情報の一部提供開始（フルバージョンは本開催期間より公開）。
- ◆オンライン商談会の申し込み受付の開始（以降、3月18日まで）
- ◆VERIPバーチャル展示会の来場者事前登録開始（本開催期間まで展示会場への入場はできませんが、一度ご登録いただくと以後はログインのみで入場可能となります）
- ◆ウェビナー及びオンライン・プレゼンテーションの参加申込受付開始

2) 本開催期間：3月9日（水）～18日（金）

◆VERIPバーチャル展示会の開幕（以降、3月18日まで）

◆VERIPオンライン商談会の開催（以降、3月18日まで）

◆VERIPウェビナー「ロシアの工業団地建設と国家支援措置」の開催

3月10日（木）日本時間16:00-18:00

◆VERIPロシア工業団地オンライン・プレゼンテーションの実施

3月11日（金）日本時間16:00-18:00

1. VERIP 特設ウェブサイト

(1) 概要

1) URL：<https://www.verip.rotobo.or.jp/>

2) 開設期間：3月2日（水）～18日（金）

(2) 出展者情報

VERIP特設ウェブサイト（以下、ウェブサイト）のメインコンテンツとして、各出展者の情報（出展者概要、立地条件・税制・ユーティリティ・インフラ等の情報、PR動画等）を掲載します。3月2日～3月8日のプレオープン期間は基礎情報のみ、本開催期間中はバーチャル展示会と同レベルの情報をご提供いたします。また、ウェブサイトは日露二か国語対応となっておりますので（バーチャル展示会は日本語のみ）、出展者についてのロシア語の情報をご希望の場合は、こちらからご入手いただけます。

(3) VERIP バーチャル展示会 入場登録

VERIP バーチャル展示会には、本ウェブサイトを通じて入場し、入場には「入場登録」が必要となります。登録はウェブサイト開設日の3月2日（水）から可能です（事前登録）。一度登録すると、以降はログインのみで入場が可能となります（詳しくは「2. VERIP バーチャル展示会」を参照）。

(4) VERIP オンライン商談会への申し込み

本ウェブサイトから、オンライン商談会にお申込みいただけます（詳しくは「3. VERIP オンライン商談会」を参照）。

(5) ウェビナー及びオンライン・プレゼンテーションの申し込み

本ウェブサイトから、3月10日と11日に実施されるウェビナーやオンライン・プレゼンテーションへの参加登録ができます（詳しくは「4. VERIP ロシア工業団地オンライン・プレゼンテーション」を参照）。

2. VERIP バーチャル展示会

(1) 概要

ロシア工業団地協会（AIP）が厳選した7地域の工業団地・経済特区を11の出展ブースで紹介いたします。

1) 開設期間：3月9日（水）～18日（金）

2) 展示情報

◆出展者概要

◆出展団体及び工業団地・経済特区のPR動画

◆立地条件・税制・ユーティリティ・インフラ等の情報

◆入居企業のサクセスストーリー等

3) 入場料：無料

4) 言語：日本語

5) 入場方法と入場者アカウント

VERIP バーチャル展示会の会場は日本の SoVeC（株）が提供する「そのまま展示会」というシステムを用いて制作されており、入場の際には、「入場登録」と「そのまま展示会利用規約」への同意が必要となります。一般的なインターネットブラウザがあれば、登録は可能ですので、特別なソフトをダウンロードいただく必要はありません。

3月2日（水）から特設ウェブサイト（<https://www.verip.rotobo.or.jp/>）にて、事前登録を受け付けます。一度、ご登録いただくと次回以降はログインのみでご入場いただけます。また、入場登録することにより展示会場に自動的にご自身のアカウントが作成され、資料のダウンロード、また出展者との名刺交換やチャット等のコミュニケーションツールの利用が可能となります。

【VERIP 特設ウェブサイト】



（２）展示コンテンツとブース機能

【バーチャル展示会場（制作中）】



【出展ブースの例（制作中）】



VERIPバーチャル展示会（以下、展示会）会場には、11の出展ブースがパネルとして表示されています（上図【バーチャル展示会場（制作中）】参照）。ご希望のパネルを選択いただくと、パネルが開き、出展ブースの中へ入ることができます（下図【出展ブースの例（制作中）】参照）。ブースには下図のとおり3面のスクリーンや展示台が備わっており、PDF、動画等で当該組織や入居企業、プロジェクト等に係る様々な情報が展示されています。PDF資料は閲覧だけではなく、ダウンロードも可能です（前項（１）「５）入場方法と入場者アカウント」）。

その他、ブースでは出展者側のオペレータとの名刺交換、チャットなどビジネスマッチングのための多様な機能が備わっておりますので、ぜひご来場のうえ、お試しください。

3.VERIP オンライン商談会

(1) 概要

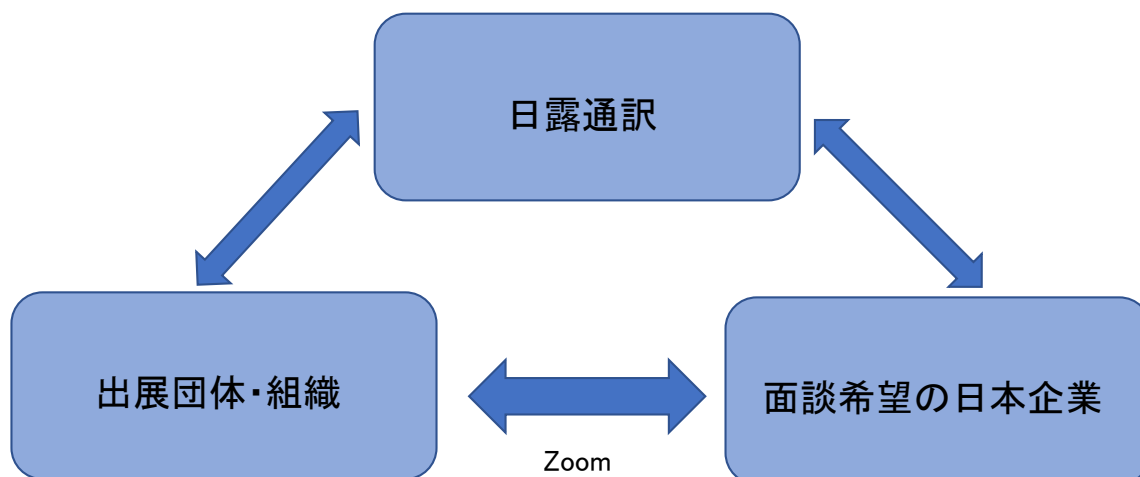
- 1) 目的：VERIP バーチャル展示会の出展団体・組織とオンラインでの面談ができます。
- 2) 実施期間と時間：3月9日（月）～3月18日（金）VERIP バーチャル展示会の開催期間の日本時間 15:00～18:00（以下、コアタイム）の間に、1 枠 30 分を基本として、面談を設定します。
※コアタイムで枠が不足する場合、前後の時間帯を利用する場合があります。
- 3) お申込み：3月2日（水）より特設ウェブサイト（<https://www.verip.rotobo.or.jp/>）にて受け付けます。最終の受付期限は3月17日（木）12:00（日本時間）です。
- 4) 参加料：無料
- 5) 面談に用いるシステムと時間：面談には Zoom を使用し、面談が成立した方に、主催者よりリンクを E メールにてお知らせします。ブラウザから参加できるため、ソフトのインストールは不要です。時間は1回 30 分を基本とし、時間枠の調整は主催者が行います（詳細は次項「商談会の手順」を参照）。
- 6) 言語：必要に応じ、主催者が日露通訳を無償でご提供します。

(2) 商談会の手順：お申し込みから面談まで。

商談会のお申し込みから面談までの流れは以下のとおりです。

- ① 特設ウェブサイト（<https://www.verip.rotobo.or.jp/>）の「お問い合わせ/面談申し込みフォーム」より目的を「商談申し込み」として、対象となる出展者を指定してお申し込み。
- ② 主催者（ロシア NIS 貿易会）がロシア側団体・組織に面談の意志を確認。双方合意の場合、面談時間を設定し、また必要な場合は日露通訳を手配する。
- ③ 主催者が Zoom で会議を組成、面談前日までに双方の企業に URL を送付する。
- ④ 面談当日の所定の時間に、主催者が Zoom 上の面談会場を開き、日本側・ロシア側双方の参加者、また必要な場合は通訳を招待する。
- ⑤ 日本側・ロシア側双方の参加者がオンライン面談／商談を行う。
- ⑥ 所定の時間経過後、主催者が接続を解除し、面談を終了する。

【VERIP オンライン商談会の実施イメージ】



(3) 注意事項

- 1) 主催者は Zoom によって商談会を開始し、終了しますが、面談／商談自体に同席することはありません。また、誰と面談を行ったか等、本件に関わる情報を当事者の許可なく第3者に公開することはありません。
- 2) 商談会の対象となるのは、VERIP バーチャル展示会の出展者のみです。
- 3) お申し込みは基本的に先着順です。時間枠の不足、相手側の都合等により、面談が成立しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

4. ウェビナー・オンラインプレゼンテーションの実施

(1) ウェビナー「ロシアの工業団地建設と国家支援措置」

- 1) 概要：豊富かつ安価なエネルギー資源と広大な土地をもつロシア。現在、そのロシアでは、外国資本を呼び込みながら、産業の近代化と経済発展を図ろうとしています。その際、外国企業の進出の受け皿として期待されているのが、工業団地と経済特区です。本セミナーでは、ロシア政府やエンジニアリング会社の代表が、ロシアの工業団地建設計画と国家支援措置、ロシアにおける工業団地のインフラ整備の概要と課題についてわかりやすく解説します。
- 2) 日 時：3月10日（木）日本時間：16:00-18:05（モスクワ時間：10:00-12:05）
- 3) 会議形式：ZOOM
- 4) 言語：日露通訳
- 5) 参加申込期間：2022年2月18日（金）から3月9日（水）日本時間 12:00 まで
- 6) 申込先 URL：https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=9132
- 7) 参加費：無料
- 8) プログラム：

ウェビナー「ロシアの工業団地建設と国家支援措置」

2022年2月18日時点

日本時間 (モスクワ時間)	プログラム
16:00-16:05 (10:00-10:05)	◆開会・議事説明 中居 孝文 （一社）ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所副所長
16:05-16:10 (10:05-10:10)	◆挨拶 パヴレンコ ピョートル 在日ロシア連邦通商代表部 主席代表
16:10-16:40 (10:10-10:40)	◆報告「ロシアにおける投資誘致政策と民間企業の投資活動の展開」 ツィカノフ デニス ロシア産業商業省 地域産業政策・プロジェクト管理局次長
16:40-16:50 (10:40-10:50)	◆質疑応答
16:50-17:10 (10:50-11:10)	◆報告「ロシアにおける産業インフラの発展と投資誘致業務の質的向上」 ジュラフスキー デニス ロシア工業団地協会 事務局長
17:10-17:20 (11:10-11:20)	◆質疑応答
17:20-17:40 (11:20-11:40)	◆報告「ロシアの工場建設分野における法律・行政・実務環境の改善」 ムンドリー トーマス シュナイダー・グループ パートナー

17:40-17:50 (11:40-11:50)	◆質疑応答
17:50-18:00 (11:50-12:00)	◆「コロナ後のロシアにおける外国企業の生産現地化の見通し」 大橋 巖 ロシア工業団地協会 日本・アジア太平洋地区担当顧問
18:00-18:05 (12:00-12:05)	◆質疑応答
18:05 (12:05)	◆閉会

ウェビナーの講師陣

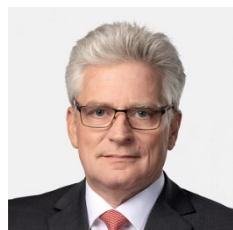
ツィカノフ デニス

ロシア産業商業省 地域産業
政策・プロジェクト管理局
次長

ペテルブルグ・テクノパー
ク、サンクトペテルブルグ市
政府、ロシア通信省、経済発
展省を経て現職。

ムンドリー トーマス SCHNEIDER GROUP パートナー

SCHNEIDER GROUPの法
律・税務の専門家として外国
企業のロシア進出やロシアで
の生産現地化を支援。1994
年よりロシア在住。



シュラフスキー デニス

ロシア工業団地協会 事務局
長

ロシア上院事務局、民間企業
(ユーラシア社)を経て、
2010年より現職。産業商業
省投資戦略会議委員を兼務。



大橋 巖

ロシア工業団地協会
日本・アジア太平洋地区担当
顧問

ジェットロ、大手コンサルティ
ングファームを経て、2014
年より現職。ロ東貿モスクワ
事務所アドバイザーを兼務。
モスクワ駐在経験は約20年。



(2) ロシア工業団地オンライン・プレゼンテーション

- 1) 概 要：ロシア工業団地バーチャル展示会（VERIP）には、ロシアを代表する7つの工業団地・経済特区が出展しています。オンライン・プレゼンテーションでは、7つの工業団地・経済特区に関わる管理会社の代表が、それぞれの団地や特区の特徴や優位性を日本企業へ PR します。
- 2) 日 時：3月11日（金） 日本時間：16:00-18:00（モスクワ時間：10:00-12:00）
- 3) 会議形式：ZOOM
- 4) 言語：日露通訳
- 5) 参加申込期間：2022年2月18日（金）から3月10日（木）日本時間 12:00 まで
- 6) 申込先 URL：https://www.jp-ru.org/entry/?post_id=9136
- 7) 参加費：無料

8) プログラム：

ロシア工業団地オンライン・プレゼンテーション

2022 年 2 月 18 日時点

日本時間 (モスクワ時間)	プログラム
16:00-16:05 (10:00-10:05)	◆開会・議事説明 中居 孝文 (一社) ロシアNIS貿易会ロシアNIS経済研究所副所長
16:05-16:10 (10:05-10:10)	◆主催者挨拶 ジュラフスキー デニス ロシア工業団地協会 事務局長
16:10-16:19 (10:10-10:19)	◆報告「ロシアにおける投資誘致政策と民間企業の投資活動の展開」 コヴァレンコ タチヤナ ロシア工業団地協会 産業建設委員会 委員長
16:19-16:23 (10:19-10:23)	◆質疑応答
16:23-16:32 (10:23-10:32)	◆プレゼンテーション1「ウリヤノフスク州の工業団地と経済特区」 ヴァシン セルゲイ ウリヤノフスク州開発公社 社長
16:32-16:36 (10:32-10:36)	◆質疑応答
16:36-16:45 (10:36-10:45)	◆プレゼンテーション2「スヴェルドロフスク州の工業団地と経済特区」 トレチャコフ ヴァジム 中部ウラル開発公社社長顧問、スヴェルドロフスク州知事顧問
16:45-16:49 (10:45-16:49)	◆質疑応答
16:49-16:58 (10:49-10:58)	◆プレゼンテーション3「サマラ州の工業団地と経済特区」 ニキーチン セルゲイ サマラ州投資誘致エージェンシー事務局長
16:58-17:02 (10:58-11:02)	◆質疑応答
17:02-17:11 (11:02-17:11)	◆プレゼンテーション4「リペツク州の工業団地と経済特区」 バザエフ アレクサンドル リペツク州投資開発エージェンシー会長、リペツク経済特区管理会社副社長
17:11-17:15 (11:11-11:15)	◆質疑応答
17:15-17:24 (11:15-11:24)	◆プレゼンテーション5「ストゥピノ・クヴァドラト経済特区」 チェルィギナ ナターリア ストゥピノ・クヴァドラト経済特区マーケティング部長
17:24-17:28 (11:24-11:28)	◆質疑応答
17:28-17:37 (11:28-11:37)	◆プレゼンテーション6「ドブログラード経済特区」 アンチポフ デニス ドブログラード1 経済特区管理会社社長
17:37-17:41 (11:37-11:41)	◆質疑応答
17:41-17:50 (11:41-11:50)	◆プレゼンテーション7「テクノポリス・モスクワ経済特区」 ジョクテフ ゲンナジー テクノポリス・モスクワ経済特区社長
17:50-17:55 (11:50-11:55)	◆質疑応答
17:55-18:00 (11:55-12:00)	◆閉会

登壇する組織・団体の概要

	機関・団体名	概 要	URL
1	ロシア工業団地協会 産業建設委員会 	ロシア工業団地協会の下部組織で、ロシアで現地生産化を行う際のあらゆる作業段階（設計、各種許認可、インフラ・ユーティリティの整備、工場の建設管理等）をサポートしている。	https://indparks.com/about/command/comitet/
2	ウリヤノフスク州開発公社 	ロシア沿ヴォルガ地方のウリヤノフスク州の投資誘致の支援促進機関。同州は日本企業の誘致に力を入れており、現在、ブリヂストン、DMG森精機、タカタといった日本企業の工場が稼働、またいすゞトラックの組立に従事。	https://ulinvest.ru/?sl=en#page1
3	中部ウラル開発公社 	スヴェルドロフスク州の投資誘致の支援促進機関。同州は鉄鋼、機械、軍需といった重工業が盛んな地域で、同州ではニプロ、三島光産が生産活動をしている。チタンバレー経済特区にはボーイング社（米）の工場が入居。	https://investural.com/en
4	サマラ州投資誘致エージェンシー 	サマラ州はロシアの自動車産業の一大拠点。ロシア最大の自動車メーカーの本社工場があり、同社と提携するルノー・日産が生産拠点を有する。トリヤツチ経済特区には日系のATTR、HI-LEXなど多くのサプライヤーが入居。	https://investinsamara.ru/en/
5	リペツク経済特区 	首都モスクワから350kmにあるリペツク州。リペツク経済特区は工業生産型特区で、入居企業は約60社。日系では横浜ゴムが同特区でタイヤを生産している他、Honeywell（米）、ABB（スイス）等が入居。	https://sezlipetsk.com/en/
6	ストゥピノ・クヴァドラト経済特区 	首都モスクワの南西部に位置する経済特区。2015年に開設したロシア初の民営の経済特区。入居企業は約30社、うち17が工場を開設済。特区の周辺に住宅地を並行開発し、職住一体型の特区を目指している。	https://gdpquadrat.com/en/
7	ドブログラード1 経済特区 	2020年11月にオープンしたロシアで最も新しい民営の経済特区。首都モスクワから240kmと近く、州都ウラジミル市から45kmに位置する。住宅、教育・リクリエーション施設等を備えた職住一体型の特区を目指している。	https://sezdobrograd.com/en/
8	テクノポリス・モスクワ経済特区 	モスクワ市に所在する経済特区。現在、市内各所に5つのサイトが開設済みで、6つ目のサイト（ルドネヴォ）を建設中。現時点で88のハイテク企業が入居している。	http://technomoscow.com/